



20

年を振り返って

特定非営利活動法人 居場所

2017. 5

ほっとできる居場所を目指して 20 年

理事長 阪田憲二郎

1995 年の阪神淡路大震災により、明石市内や神戸、阪神間の作業所は被害を受けました。また、当時の明石市内には精神障害者の作業所や利用できる社会資源が不足している状態でした。そこで関係者が集まり、「作業をしなくても利用できる」「ほっとできる」居場所型の作業所を作ることを目的に、「明石に障害者の居場所を作ろう会」という市民団体を 1997 年に発足し、同年、夢工房大久保を設立しました。これが NPO 法人居場所の原点です。

その後、2000 年に NPO 法人の認証をいただき、2002 年にサポートセンター西明石を開設、2006 年に相談支援事業を開始しました。そして、夢工房大久保とサポートセンター西明石には、地域活動支援センターを残して、就労継続支援 B 型を併設しました。2014 年に就労移行支援事業「J Sブリッジ西明石」を開設、2015 年に就労継続支援 B 型に移行しました。現在、法人の事業は、就労継続支援 B 型を 3 か所、地域活動支援センターを 2 か所、相談支援事業所を 1 か所運営しております。

居場所はこの 20 年間で大きな発展を遂げました。それは時代や制度が変わっても「そこへいけばほっとできる」という居場所の理念を持って精神障害者が気軽に利用できる事業所を目指してきた結果だと考えております。この理念に多くの関係者の賛同をいただいておりますことに心から感謝いたします。

これからも居場所の理念をさらに具現化する活動を着実に進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

巡る年月

副理事長 松丸泰治

20 年前、当時病院の一管理者だった私に明石に障害者の集う場を作りませんかと呼びかけがあり、その趣旨に賛同し運営に携わることになりました。実務的な役割を担うことは乏しくも、当事者、職員、支援者などと様々な交流を重ねて今日に至りました。70 年余の人生を思い巡らす時「居場所」の年月は何よりの財産です。「居場所」も何かと困難な時期もありましたが、その都度関係者の尽力により乗り越えて事業所も増えました。これからも地道な歩みを続け発展を願望するのみです。

この言葉を聞くと和むし、力をもらえる「居場所」

前理事長 青木聖久

「そこに行けばほっとできる」。そんな思いから、「この指とまれ」で市民団体作りが始まりました。当時、来住（きし）商事さん：不動産屋から、「この物件、あの子ら（精神障害のある人）のために使えれへんやろか」という話をもらったのがきっかけでしたが、多くの人たちで夢を語り合いましたね。私は、いつまで続くか別にして、11 月最終週の金曜日の忘年会への連続参加記録を更新し続けたいと思っています。居場所は私の原点です。

居場所のあゆみ



- 1997年3月
「明石に障害者の居場所を作ろう会」発足
- 1997年5月
小規模作業所「夢工房大久保」開設
- 2000年7月
喫茶「やすらぎ」開設
- 2000年11月
「NPO 法人居場所」認証
- 2002年4月
小規模作業所「サポートセンター西明石」開設
同年10月 ギャラリー「ピエル」開設（西明石北
福祉会 のちサポートセンター西明石に移管）
- 2006年10月
「夢工房大久保」地域活動支援センターに移行
（「サポートセンター西明石」は翌年4月に移行）
- 2006年12月
「相談支援事業 居場所」開始
- 2011年10月
「夢工房大久保」就労継続支援B型併設
- 2012年6月
「サポートセンター西明石」就労継続支援B型併設
- 2014年4月
就労移行支援事業所「JSブリッジ西明石」開設
- 2015年6月
「JSブリッジ西明石」就労継続支援B型に移行



1997年 夢工房大久保開所式



開所当時の夢工房昼食



2000年 喫茶やすらぎ開所式

事業所



- サポートセンター西明石
地域活動支援センター
就労継続支援B型事業
- 夢工房大久保
地域活動支援センター
就労継続支援B型事業
- JSブリッジ西明石
就労継続支援B型事業
- 相談支援事業 居場所



初期の夢工房茶話会



初期の夢工房旅行

歴代理事長・所長より

居場所の設立 20 周年記念誠におめでとうございます。今日に至るまで、支援事業を支えて下さると共に就労支援事業所・相談支援事業所等々の拡大に尽力下さいました、多くの皆様に心より感謝申し上げます。省みますと私は当時ともしび会ファミリーサークルの家族会の代表をさせて頂いておりました。そんな折青木聖久様より施設立ち上げのお話が有り、私としては何の知識もなく不安でしたが、色んな支援を待っている障害者さん達のため少しでも役に立てばとの思いで勉強させて頂こうと決意した次第です。今後とも関係者御一同様には、障害者さん達のためにもお励み下さいますようお願い申し上げます。

初代理事長 成定公子



2002 年 サポートセンター西明石開所式①



2002 年 サポートセンター西明石開所式②



初期のサポートセンター西明石

居場所、20 周年おめでとうございます。年月の経つのは早いもので、夢工房大久保の開所式がつい先日のように思い出されます。広々としたフロアーに何も無く開所式に使用するテーブル・イス何もかも不足でしたが、近くの病院のご厚意でお借りでき、立派な会場が整いました。当日参加していただいた方の多かった事はうれしくて今も記憶に残っています。自治会、市役所、保健所、病院の関係者など居場所を作りたいと協力して下さい下さった方々が、ゆっくり座る場所もなく、動けば肩が触れる中で談笑されている姿が印象的でした。そんな中での船出に所長として、また理事としての責任に身の引き締まる思いがしたものです。そしてたくさんの方の御協力と御支援のもと、無事務めを果たすことができました。深く感謝致しております。今後ますますのご発展を願っております。

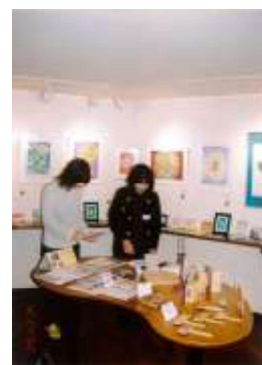
夢工房初代所長 井川美子



夢工房 V S サポセン 野球

居場所が発足され 20 周年を迎えられました事、お慶び申し上げます。青木さんが「明石にだれもがホッとできる場所」を作りたいと着々と準備され多くの人に声をかけられました。1997 年市民団体が発足されるまで、どれだけの御苦勞があったか知る由もありませんがそこにはいつも柔和な態度と明るい笑顔、目を見張る行動力が有りました。私たちもその青木さんの後姿を見失うことがないように努力しましたが、なかなか難しかったことを覚えていいます。現在もまだあの行動力は衰えておられないのでしょうか、ますますご活躍とお聞きしますから。そして現理事長、事業拡大と充実を目指して、頑張っておられる皆様方に感謝しております。居場所が今後もますます地域に必要とされる場所となりますよう祈念いたしております。

夢工房第 2 代所長 大西月美



ギャラリー「ピエール」開設

各事業所より

夢工房を利用して16年。その間通所している人達も色々入れ替わってきましたが、楽しかったです。また色んなことも、皆で乗り越えてきました。これからもどんなことがあっても、皆で助け合っている場所であってほしいです。

夢工房メンバー A.H

居場所に関わる全ての皆様に、日々感謝しています。これからも通所されている利用者様や、この法人をまだ知らず自分の居場所を必要としている多くの方々に、少しでもより良い居場所を提供していきたいです。今後も利用される方々や、繋がりある方々と二人三脚でこの法人を作り上げることができたらとも思います。

夢工房職員 柴田竜平

『居場所』の一員になって三年が経ちました。一人一人に必要な福祉サービスについて一緒に考え調整をする「計画相談」という仕事を担当しています。そのため日頃より『居場所』の各事業所も面談等でまわらせてもらうのですが、どの事業所でも長く『居場所』を利用してきた皆さんが中心となって事業所を盛り立てて下さっているのを感じます。『居場所』を愛して下さっている皆さんのためにも、これからも心を尽くしていきたいと思っています。

相談支援職員 土屋直美

サポセンに通いはじめて9年にもなります。サポセンに行くとはっとします。私の居場所ができて良かったなと思っています。

サポセンメンバー K.K

居場所とのご縁は学生時代の実習先からでした。当時私もメンバーさんと一緒に作業を体験し、お話を聞かせていただき、実習中ながら居場所を心地よく感じていました。今後も居場所とのご縁を大切にし、実習中に感じていたように心地よい雰囲気でもメンバーさんと過ごしていきたいです。

サポセン職員 甲斐芙実

私はJSブリッジ西明石のメンバーですが、元々はサポートセンター西明石のメンバーでした。サポートセンター西明石を知ったきっかけは、主治医の先生から勧められたのがきっかけでした。最初はあまり興味を持てませんでしたが、ある日思い切って電話し、通うことになりました。JSブリッジ西明石に移ってからはアロマ作業で苦戦しましたが、今はシール貼りなど上手く出来るようになりました。サポセンとJSの2ヶ所で色々な事を経験できました。これからも少しずつでも気力や体力をつけて、もう少し前進していきたいです。

JSブリッジメンバー K.R

NPO 法人居場所20周年おめでとうございます。これまでに、多くのメンバーさんと職員が関わって続けてきた20年だと思います。私は社会福祉という業種に携わって2年になります。まだまだヒヨッコですが、メンバーさんと社会との関わりが少しでも広がるアドバイスができる様に、1日1日過ごしていきたいです。

JSブリッジ職員 北野吉彦

